

天浜線の「今と昔」

国鉄二俣線から天竜浜名湖鉄道へ。

天浜線は、静岡県风光明媚な地域を走る鉄道路線で、その歴史は深く、地域の発展に大きく寄与してきました。1922年に掛川と二俣間の敷設予定線として計画が始まり、1935年には掛川から遠江森間が開通しました。その後国鉄時代を経て、1987年に天竜浜名湖鉄道として新たなスタートを切ります。開業以来、天浜線は多くの人々の生活に密接に関わり、地域経済や文化に貢献してきました。

非電化路線としては静岡県内で唯一の存在であり、その歴史的価値は、いくつかの駅が国の登録有形文化財に登録されるなど、多方面に認められています。

講座では、天浜線が開通した背景、重要な節目などを解説します。また定点撮影から、今と昔の天浜線の姿も紹介します。



定点撮影写真提供 村木勝義氏

HPはこちら

↓ 1970年と2016年の

井伊谷川橋梁



指定管理者 : TRC・遠鉄アシスト共同事業体

日時：2024年7月28日(日)

午後2時30分～4時30分

場所：細江図書館 視聴覚室

講師：鉄道写真愛好家 村木勝義氏

定員：30名(先着順) 参加費無料

受付開始は

7月8日(月)午前10時から

申込み方法は下記のいずれか

●細江図書館TEL 053-527-0185

●カウンター

●申込フォーム

図書館HP



収集した個人情報、講座以外では利用しません。